

千刈狸の呟き

2022年6月

歴史的感染症となった新型コロナウイルス感染症について、診療所の発熱外来で感じられた事を中間的にまとめてみました。

なるほど感染経路

- 症例1 「家庭や学校でカゼの人と接触はありません。どこにもお出かけはしていません。」39℃の発熱の原因は？「一度だけ後日感染者となった友達とジュースの回し飲みをしました。」
- 症例2 「4人で一晩久しぶりに麻雀をしました。一度だけです。その他には一切出かけていません。」3日後そのメンバーの一人が新型コロナを発症しました。
- 症例3 「ここ2ヶ月間、人前でマスクを外した事はありません。どこにも出かけていません。ただ一度だけ一人でカラオケに出かけました。」
- 症例4 「どこにも出かけてないし、周囲に熱のある人もいません。ただ先日の喫煙室はとても混み合っていました。」

沢山のエピソードの中からなるほどと感じたものを上げました。この感染症では「一度だけ」がキーワードになりそうです。

診療所におけるコロナ診療時の問題点

自分の勉強不足に理由があるかもしれませんが、今後の事を考え問題点を記録しました。

診断後直ちに届出

PCRの結果が夜の11時に出て、患者さんの携帯に連絡し、引き続きメールで保健所へも直ちに届出しました。何回か深夜に診療所へ出かけることとなりました。

不明な届出後の経過

発生届の後、患者さんへの保健所の指示が自宅療養か宿泊療養か入院か、届出医に決定は不明、どうしたかな？と気になりました。

処方ハードル

初診時抗原検査陰性の場合には処方しますが、陽性になった瞬間に、患者さんがどこで療養するか未定のため、診断医として処方するフリーハンドが鈍く

～新型コロナウイルス感染症の記憶～

蒼 狸

なりました。

電話再診のハードル

一般論としては、保健所にて電話診療の了承がなければ診療所は動けず。

ラゲブリオ処方時の経過観察

処方医はラゲブリオ投薬後フォローアップを求められています。患者さんが入院するとフォローアップは実務的に中断しました。

コロナ感染にみられた特殊な出来事

ワクチン未接種

「私はワクチン接種していません。」ワクチン接種を望まない人が、一定数おられました。ネットでの、高名な先生の話がきっかけでした。副反応に対する考え方が個々に違うためと、さまざまなネット情報が影響しているものと思われます。秋田県民のワクチン接種率が日本一です。集団接種会場に、市民の皆さんが市の計画にそって淡々と接種に來られました。秋田県民は素直で、面倒を言わない人が多いと感じました。ちなみにNHKの受信料の納付率も日本一です。

路上でのマスク販売

国道脇で、季節にサクランボやスイカの販売を見ます。今回はついにマスク販売がみられました。ジーンズ姿の普段着の女性が販売していました。

国産品不足

国産の予防衣、マスク、ワクチン、注射器が不足しました。そのためそれらの流通に政府の直接的関与を要しました。

インフルエンザの流行がみられなかった

一昨年も、昨年もインフルエンザの流行がありませんでした。マスクが予防対策上きわめて有用だったと思われます。

あとがき

病院や保健所でも、診療所では想像もできない事があったに違いありません。医療崩壊にならなかった事に感謝しています。